

## 1-23 各部の基本納まり図

## 4) 左右接合部

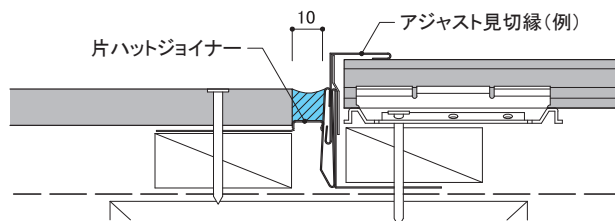
## ②モエンの厚みが異なる場合

●アジャスト見切縁を使用するなどして、シーリング接着面が左右同一になるように施工します。

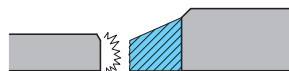
(より厚みがある側に見切縁を入れてください。)

※表面段差が2mmを超える場合は、見切縁(現場調達品)を入れ、縁を切ってください。

※16mm厚品を釘打ち施工する場合は、モエンM・W14mm厚品との左右接合部は見切縁なしのシーリング目地納めもできます。



シーリングの接着面積が異なると目地切れが起きやすく、不具合の原因となります。



## ③メーターモジュール躯体の四方合いじゃくり品

メーターモジュール躯体で四方合いじゃくり品を使用する場合、左右接合部が躯体芯から外れます。

留付金具で施工の際は、縦胴縁に「メーターモジュール用留付金具EX」を使用するか部分的に受け材を使用することで対応できます。通気留付金具で施工の際は、「通気金具工法用スパンホルダー」をご使用ください。(P57参照)

## ■縦胴縁+メーターモジュール用留付金具EX仕様

図のように躯体から左右接合部が外れる部分にメーターモジュール用留付金具EXを使用します。

※「メーターモジュール用留付金具EX」の詳しい施工法は次ページをご参照ください。

